

南海トラフ地震時に備えた災害支援物資の海上輸送訓練

大規模災害(南海トラフ地震)の発災時に、円滑かつ確実な支援物資の輸送を実現するため、国土交通省各局を中心とした各関係機関における物資の調達及び輸送に関する連絡調整の仕組みを確認し、関東方面から関西方面に向けて船舶を利用しての支援物資輸送活動を行い、一連の関係機関間の連携を検証する。

1. 日程 平成29年1月31日(火)～2月1日(水)

2. 概要
- ①関東で災害支援物資調達
 - ②物流倉庫から千葉港へ陸上輸送
 - ③千葉港から堺泉北港へ海上輸送
 - ④堺泉北港から近畿圏臨海防災センター(=広域物資輸送拠点)
 - ⑤広域物資輸送拠点から大阪市立阿倍野防災センター(地域内輸送拠点)
 - ⑥地域内輸送拠点から阿倍野区役所(避難所)
- } 陸上輸送



貨物船からの積み卸し



近畿圏臨海防災センター 到着



積み替え 待機



積み荷状況



積み荷降ろし



2t車への積み替え状況



近畿圏臨海防災センター 出発



阿倍野防災センター 積み卸し状況

平成28年度 第2回堺2区基幹的広域防災拠点災害対策チーム実動訓練

直下地震(上町断層帯地震)発生を想定し、①各班が交通船を使って堺2区に参集し、②防災拠点職員行動マニュアルに基づく初動活動を行い、③習熟と課題等の抽出を目的に実動訓練を実施。

1) 班の作業内容及び作業分担を確認

1. 日程 平成28年12月12日(月)
8時40分～16時00分

2. 場所 堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点
(大阪府堺市堺区匠町3番2)

3. 参加班員(34名参加/72名)

総括班 : 3名参加
緑地班 : 5名参加
道路班 : 15名参加
岸壁班 : 7名参加
調達班 : 2名参加
総務班 : 1名参加
広報班 : 1名参加

4. 訓練の流れ

- ① 班の作業内容及び、作業分担を確認
- ② 作業分担に基づき訓練を実施
- ③ 全体会議(班長が現場総括責任者へ報告)
- ④ 各班反省会
- ⑤ 全体反省会



2) 作業分担に基づき訓練を実施



岸壁班(水深測量)



道路班(陥没埋め戻し)



緑地班(夜間照明設置)



道路班(車両撤去)



緑地班(敷板設置)



岸壁班(投光器設置)



広報班(報告資料作成)

近畿地方整備局・大阪府・堺市合同総合防災訓練の開催

「津波防災の日」「世界津波の日」にあわせて堺2区基幹的広域防災拠点において、近畿地方整備局、大阪府、堺市の合同防災訓練を実施。多数の関係者と連携して行う救援物資輸送や、看護専門学校生、自衛隊、海上保安庁、警察、消防等が協力した人命救助訓練を実施。

- 開催日時 平成28年11月5日(土) 9:30~11:40
- 実施場所 堺泉北港堺2区近畿圏臨海防災センター
堺市北区金岡公園
- 主な訓練内容
 - ①緊急支援物資輸送準備訓練
 - ②緊急支援物資輸送訓練
 - ③津波避難訓練
 - ④人命救助・消火訓練
 - ⑤ライフライン復旧訓練
- 参加機関 国・地方公共団体・防災関係機関・地元企業・計61団体
- 参加人数

訓練参加者・関係者	約1000名
一般来場者	約500名
合計	約1500名

開会式



近畿地方整備局長挨拶



大阪府副知事挨拶



堺市長挨拶



北側代議士来賓挨拶

実施した主な訓練

①緊急支援物資輸送準備訓練



海洋環境整備船「クリーンはりま」による航路啓開(浮遊物回収)



海上保安庁「みのお」による放水拡散



近畿地整職員による道路啓開



防災拠点内における、青空給油所の設置訓練

②緊急支援物資輸送訓練



海自掃海艇から耐震強化岸壁に物資の荷下ろし



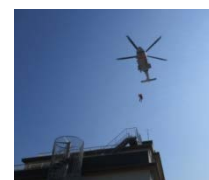
地元企業協力による、耐震強化岸壁から荷捌き場へ物資搬入



防災拠点内に設置した大型テント内における荷捌き訓練



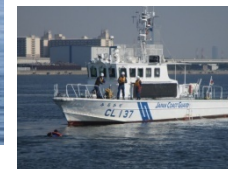
③人命救助・消火訓練



大阪府警ヘリによる吊上げ救助訓練



海自、海保による海上漂流者救出訓練



消防、警察、陸自による、現地対策本部立ち上げ、及び運用



日赤、堺市立総合医療センターDMATによる、傷病者待機場所及びびトリージポストの開設

平成28年度 第1回堺2区基幹的広域防災拠点災害対策チーム実動訓練

本訓練は、海溝型地震(南海トラフ巨大地震)の発生を想定し、①災害時利用協定に基づく借上バスによる堺2区基幹的広域防災拠点への移動方法の確認、②防災拠点到着後の初動対応の習熟を図ることを目的に実施した。

1. 日 程 平成28年9月6日(火)8時30分～15時30分

2. 場 所 堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点
(大阪府堺市堺区匠町3番2)

3. 参加人員(59名参加)

本局、神戸港湾事務所、大阪港湾・空港整備事務所、神戸港湾空港技術調査事務所から参集訓練、実動訓練に参加。※和歌山港湾事務所においては実動訓練に参加

4. 訓練内容

○参集、連絡体制確認訓練

災害時利用協定に基づく借上バスにより、本局、神戸港湾事務所庁舎の職員、並びに大阪港湾・空港整備事務所が移動時の連絡体制を確認しながら防災拠点に参集する訓練を実施。

○初動対応訓練
(対策班)

被災想定に基づき、岸壁・道路・緑地護岸の3方にわかれ、被災箇所の測量・調査、施設使用の可否判定訓練を実施。

(総務班、情報収集班、広報班、調達班)

発災時における対応マニュアルの確認。

関係官署への情報伝達手順等の検討を実施。

対策チームの厚生管理(非常食、寝具等の確認)に関する施設内点検1F止水板の着脱等を実施。

5. 今後の予定

12月に直下型地震の発生を想定した第2回実動訓練(被災箇所の応急復旧訓練及び物資受入準備訓練)を実施予定



現場統括責任者(事業計画官)からの各班展開指示



各班、調査出動前ミーティング



被災状況の調査・測量状況
(対策班：岸壁)



被災状況の調査・測量状況
(対策班：道路)



被災状況の調査・測量状況
(対策班：緑地)



各班長から統括班への報告